

随意契約をすることが出来る場合に
該当することの説明書

地方自治法施行令第167条 の2第1項第2号により随意 契約をすることができる場合	今回の契約が左に該当すること等の説明
<p>「特定の者でなければ供給することができないものを調達するとき」及び「財産の売払い、物件の貸付けその他の県の収入の原因となる契約であって、価格競争により契約の相手方を決めることが困難又は不適當なものをするとき」以外の場合であって、契約の性質又は目的が競争入札に適しない特別な事情があるとき。</p>	<p>1 契約の概要</p> <p>本業務はタラガトンネルから流出する濁湧水から板取川の河川環境を保全するため、濁水処理槽の適切な監視・管理・清掃等のメンテナンスを行うものである。</p> <p>契約の内容 タラガトンネル濁湧水管理業務委託</p> <p> 濁湧水監視工 1 式</p> <p> 濁湧水処理工 1 式</p> <p>2 契約の性質又は目的が競争入札に適しない特別な事情の説明</p> <p>通常は濁度センサー、凝集剤自動投入機による維持管理を行っているが、荒天などにより濁度の高い湧水が大量に発生した際、現場へ急行し「通行規制の判断および規制処置」や「濁りを抑える凝集剤の追加投入」など人為的な作業が必要である。</p> <p>なお、濁湧水の発生は予測ができないため、昼夜問わず体制を整え、直ちに対応が必要となる迅速性が求められる。</p> <p>3 選んだ特定の相手方が契約相手として適當であることの説明</p> <p>有限会社 山重興業は、タラガトンネルに一番近く、現場作業が必要となった場合、30 分以内に対応ができる唯一の業者である。</p> <p>また、平成 29 年度より全面委託業務および本業務に従事し、現在の処理槽の監視・管理に関する実績がありノウハウを十分に有している。</p> <p>よって、緊急的に現場へ駆けつけ、適切かつ円滑に作業を行うことができるため、契約の相手として適當である。</p>